

キリストの架け橋

発行責任者：宝田 豊 yutakara@gmail.com

対外伝道ニュースレター

2016年4-6月 Vol.12

～人生で本当に大切なもの～

4月の終わりにノートパソコンがとうとう壊れてしまいました。新しいパソコンを手に入れたのが6月の半ば、それまでの期間、非常に不便な生活を余儀なくされました。これ一台あれば、特に問題なしと思って、デスクトップが動かなくなっても、そのままにしていたのですが、今回、ラップトップが壊れ、さまざまなことに支障をきたすことになりました。そんな私の苦境を見かねたのか、急きよ、息子が古い部品を集め、コンピューターを一台準備してくれました。ただ、必要な日本語のソフトがありません。ニュースレターは勿論、日本にある日本語のプログラムなど、ハードが準備されても、それを動かすソフトがないために十分な仕事が出来ませんでした。

徳山では、わたしの留守中も、信徒だけで礼拝が守れるように、わたしが週報を作成し、教会員に送信、それを印刷して礼拝に間に合わせるようにしています。また、メッセージもわたしが原稿を作成し、日本に送信、それを教会員が用いて礼拝の中で奨励をしています。ところが、テキサス滞在中、日本伝道にかかわる仕事をするための時間を、自宅ではなかなか取れず、ほとんどの仕事を巡回伝道中のホテルの部屋でしなければなりません。そんな訳で、わたしにとってノートパソコンは必需品といえるものなのです。

現代人は、コンピューターのようなIT機器が使えなくなった時、パニックになるほど不安になる、といわれますが、今回のことを通して、知らず知らずのうちに、わたしも生活の中でIT機器に依存していることに気づかされました。ノートパソコンが使えなくなった時、本当に不便を感じたものです。

今回の経験を通して、人生には、もっと大切なものがあることを、現代の人々に知らせなければならぬ責任を強く感じました。どんなに優れた能力を持ったロボットのようなものでも、人をまことの幸せに導くことはできません。それが出来るのは、イエス・キリストを通して人間に対する深い愛を現してくださった神だけであることを、クリスチャンは知っています。この方こそ、わたしたちが最も大切にすべきお方であり、毎日の生活で決して忘れてはならない存在なのです。

わたしたちは、地球と呼ばれる惑星に生きていますが、これは、太陽系の中であって、生物が生産できる唯一の惑星であります。ここにこそ、人が豊かな生活を送るのに必要な、あらゆる資源が備えられているのです。この資源を活用することで、人間は、コンピューターのような機器を生み出すことが出来たのです。この資源は、神が地球にはじめから備えて下さっていたものです。

ところが、人間は、神を認めたくないで、神以外に地球の始まりを想定し、推測の域を出ないにも関わらず、あたかも定説であるかのように人々に繰り返し教え込むのです。人間の存在理由を自然界の偶然という言葉で理解させようとしています。しかし、自然界に存在する法則、また、人間のからだは、人間が作り上げるどんな機器よりも精密で、緻密な計算のもとにつくられていることは否めません。そのことから、「はじめに神は、天と地を創造された」との聖書の言葉こそ、理にかなっていると言えます。自然の中の偶然ではなく、神の創造の中での必然によって世界があり、人間を含むあらゆる命が存在していると考えるとき、すべての説明が理論的に成り立つのです。

人間は、神の存在を認めようとしません。しかし、認める認めないに関わらず、神は存在するので、そして、この神こそが、人に生きる幸せや喜びを実感させて下さるお方なのです。もし、神が、おられなかったならと考える時、私は恐ろしさを感じます。しかし、幸いなことに、神は、今も昔も、変わらない愛をもってわたしたちの世界に存在されるお方なのです。わたしたちの宣教は、この神と共に生きる人生の豊かさを他の人々にも知ってもらいたいとの願いから、なされているものなのです。

神の見えない性質、すなわち、神の永遠の力と神性とは、天地創造このかた、被造物において知られていて、明らかに認められるからである。したがって、彼らには弁解の余地がない。
なぜなら、彼らは神を知っているが、神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからである。 ローマ人への手紙8章28節



教会に居ることが大きな喜び、と言えるような群れをみんなで築いて行こうと歩みを始めています。

当教会で共に喜びある礼拝を守ってみませんか。どなたも心から歓迎いたします。

徳山バプテスト教会 〒745-0881
山口県周南市大字徳山東辻 5685-12
<http://tokuyama-ch.com>

祈りのリクエスト

- + 徳山バプテスト教会の祝福
- + 教会の必要経費の備え
- + 教会員の霊的成長
- + 新来者が与えられるように
- + 救われる魂が与えられるよう
- + 地域の人々が教会を訪れるよう
- + 被災地伝道の祝福
- + 活動経費が備えられるよう
- + わたしの健康が支えられるように
- + テキサス州内伝道の祝福
【ダラス、アビリーン、コーパスコープ、サンアントニオ、ヒューストン】
- + 御国バイブルフェロシップ（ヒューストントン）と上原牧師の祝福

主な行事予定(7-9月)

- 7月17日 ダラスからの訪問者
- 7月25日 中四国バプテスト大会
高知にて
- 7月31日 宣教協力 八幡浜バプテスト教会より榎本謙二郎先生
- 8月28日 中四国バプテスト教会連合
交換講壇 呉キリスト教会にて
徳山：呉教会の浅海先生
- 9月17日 Pattersonご夫妻徳山へ
伝道の旅2週間
- 9月22日 音楽特別集会 於：今治教会
講師：山中臨在先生

徳山教会

日本の教会では、4月から新しい年度が始まりますが、4月から6月までの平均礼拝出席は、5.5人でした。3名での礼拝は、一回だけでした。また、最高出席は5月に9名という日曜日がありました。こうして礼拝の出席人数を見てみると、確実に人の動きがあることを知ることが出来ます。感謝です。

4月に入り、テキサスのサンアントニオ市から牧師のBill Kroeger先生と喜代枝夫人が、一週間の予定で伝道協力に来てくださいます。



た。日曜日には、礼拝の中で賛美と証しをしていただき、また、教会近くの桜場通りと呼ばれる桜の並木通りでは、通行人に声をかけ、教会に招いて下さいました。

日曜日の夕方は、家庭訪問に同行していただきました。これまでも、機会があるたびに、その家のノクリスチャンのご主人をお訪ねしていますが、なかなか心を開いてくれません。それでも、いつかは聖霊が彼の心に働いて教会に導かれることを信じて伝道しています。

5月には、年度初めの母教会との話し合いが持たれ、互いに今年も協力し合っていくことを確認しました。また、この月は、時間が出来たので公民館での太極拳のクラスに参加、新年度にはいり、新しい生徒が加わり、よい顔合わせができました。

6月には、母教会との交換講壇があり、わたしは、四国の今治市にある今治バプテスト教会の礼拝でメッセージをさせて頂きました。これからも、こうした形での交流や特別な集会などへの参加協力を通して互いの関係造りにいそんでいこうと思っています。

宣教協力

4月3日、徳山では宣教協力として母教会から、今井謙一先生がご奉仕下さいました。そして、わたしは、奈良バプテスト教会の礼拝で御用をさせて頂きました。なかなか活気のある教会で、若い人たちも多く出席されていました。また、最近、一軒家を購入され、ホスピスを開設されたそうです。



5月1日、昨年、一周年記念礼拝でメッセージをさせて頂いた横浜大和町キリスト教会で、再度、み言葉の御用をさせて頂きました。ここも教会員は、5名という小さな群れです。

今回の礼拝には、求道者も出席されておられました。礼拝後、その

4月は、新しいノートパソコンを購入、それに合わせて必要なソフトを購入しました。また、日本の車の車検と車の保険代などが重なり、かなりの出費となっていました。

それでも主は、皆さんお一人お一人からのご支援によって、こうした必要も、備えて下さっています。神に感謝する、と共に皆さんに感謝いたします。(ドル収入に関しては、一ドル110円で計算しました。)

支援金は、下記住所までご送金をお願いいたします。

Japanese Baptist Church of North Texas
For Takarada Fund
6040 Alpha Rd. Dallas, Texas 75240

方たちを含め、教会員の皆さんと一緒に近くの中華料理屋さんで昼食を頂きました。私は、求道中のご夫婦(奥様はクリスチャン)と昼食を共にさせて頂きました。



今年の終わりに、再度、特伝講師としてお招き頂いたので、10月30日の日曜日にご奉仕させていただくことにしました。

5月22日、Japanese Mission Church of Dallas(ダラスにあるもう一つの日本語教会)の牧師である新垣太先生が日本へ一時帰国され、ご不在中の日曜日に、メッセージの機会を頂きました。

この教会は、韓国人教会の一室を借りて礼拝を守っておられます。礼拝では、先生の息子さんが同時通訳をされ、アメリカ人の方も共に礼拝を守ることが出来るように配慮されていました。礼拝後、昼食を頂きながら、教会員の方々とお交わりの時間を持たせて頂きました。

被災地伝道

熊本で大きな地震があり甚大な被害があったとのニュースを受け、東日本の働きがとん挫している今、熊本の状況を知ろうと、6月17日、車で熊本県へ向かいました。ちょうどこの日に福岡教会連合の方々が行かれるという情報を頂き、共に、県内にあるバプテスト教会を一軒一軒訪問し、被害状況などを見せて頂きました。結果、それぞれの教会では、壁のひび割れや屋根の瓦が落ちて割れたなどの被害が主なものでした。



今回の訪問で甚大な被害を被ったのは、宇土にある教会の並びに建つ宇土市役所のビルでした。また、住宅地に建つ小さな社の土台が外れていました。



結婚式：吉澤拓也・廣島愛

テキサス生まれの廣島愛さんの結婚式が横浜Joy Chapelにて、石田正美先生の司式のもと、執り行われた。帰国したダラスの仲間が大勢集まって、二人の結婚を祝福されていました。ご結婚、おめでとう!



今年は、40年振りに自分の目で桜を見ることが出来ました。徳山で有名な、金剛山の桜の写真を撮りに行き、一人の男性と出会いました。

彼にとって、教会の牧師と会えたことが、何か特別な時間と感じたらしく、山を下って行かれる時に、桜の下で牧師さんと会ったことを自分の妻に話しますと、とても喜んで帰って行かれました。この出会いがごの方にとっていつか教会につながれば、と祈りました。



経費内訳 2016年 4月~6月 (¥110/\$1)

2016年3月までの収支	-36,370.79
入金 (4-6月)	
支援総額(連盟、個人を含む)	10,939.36
経費 (4-6月)	
国際線+日本の国内線	3,068.36
日本の経費合計 (治療費含む)	9,878.58
徳山バプテスト教会支援金	818.18
経費合計 (4-6月)	13,765.12
収支合計 (4-6月)	-2825.76
次期への繰越金	-39,196.55